

平成26年7月18日 前線に伴う出水で
やぎさわ ぼうさい そうさ
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約113万³m³を貯留

矢木沢ダム流域では、7月17日20時頃から7月18日7時までの累計で約42mm（矢木沢ダム流域平均）の降雨量を観測しました。

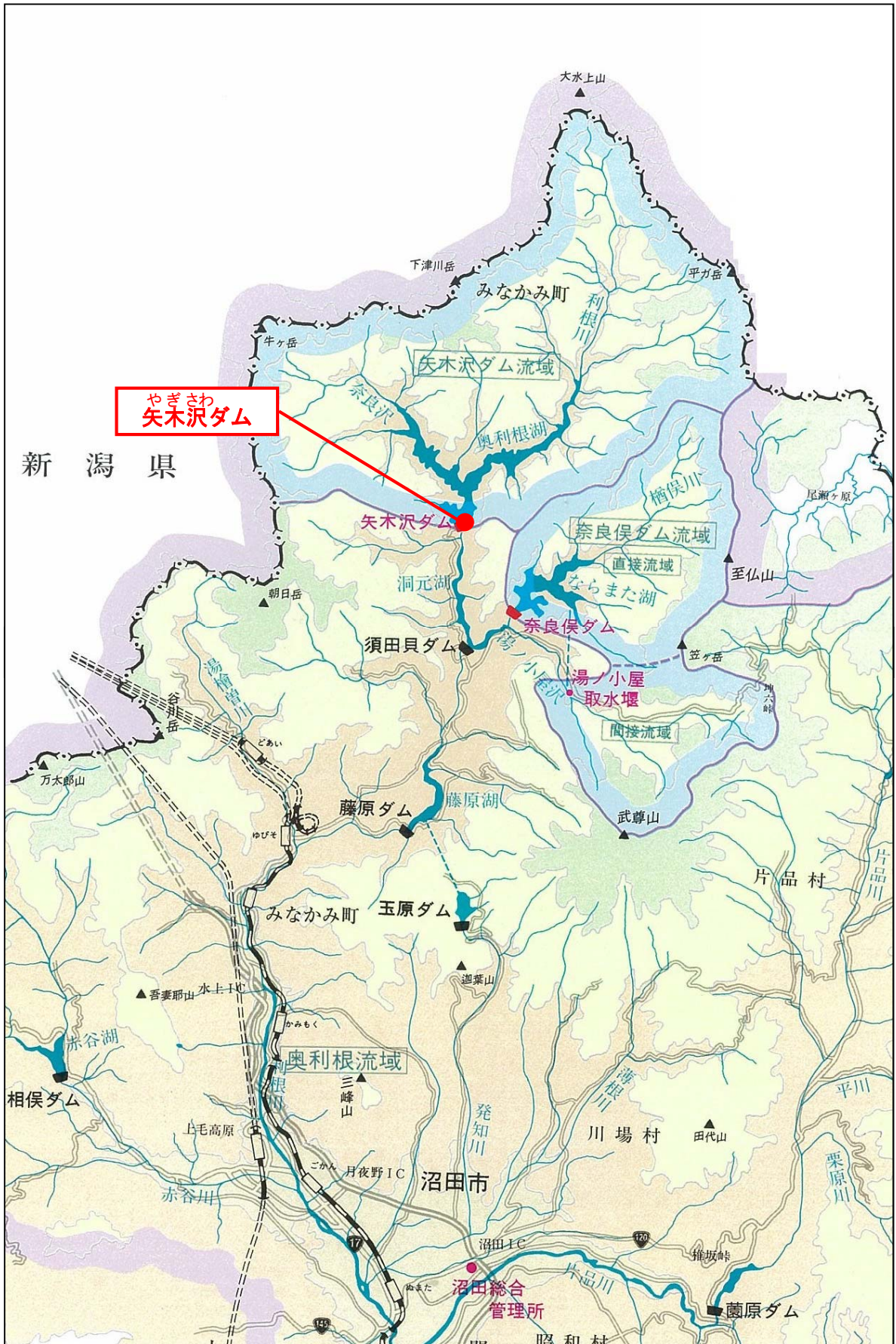
この降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、18日2時20分に流入量（最大で毎秒約189立方メートル）が洪水量に達したため、防災操作を実施しダムに約113万立方メートルを貯留しました。

今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

ぼうさい そうさ
※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

